

みらい科 校内研究学習指導案

3年

単元名

「それ行け！地域の商店調査団」

日時 令和5年6月2日

場所 家庭科室

授業者 3年2組

1 単元の目標

- 地域には様々な商店があり、それぞれ消費者の多様な願いを踏まえお店を営んでいることを、友達と適切な方法を選んで調べたり、必要な情報を比較・分類したりしてまとめ、地域のよさを見付ける。
- 地域にある商店の販売の仕方や他地域との関わりなどに着目して問いを見出し、身近な他者と関わりながら目的意識をもって調べ、書く内容の中心を明確に、適切な表現方法を選んで表現する。
- 地域のまちのよさや特色に関心を持ち、地域に見られる販売の仕事について、身近な他者と関わり合いながら予想や計画を立てたり、内容の中心が明確になるように文章を書こうとしたりして、主体的に課題解決を目指す。
- 地域の商店調べを通して自分と地域社会とのつながりに気づき、地域の活動に進んで関わろうとするなど、地域の一員としての自覚をもとうとする。

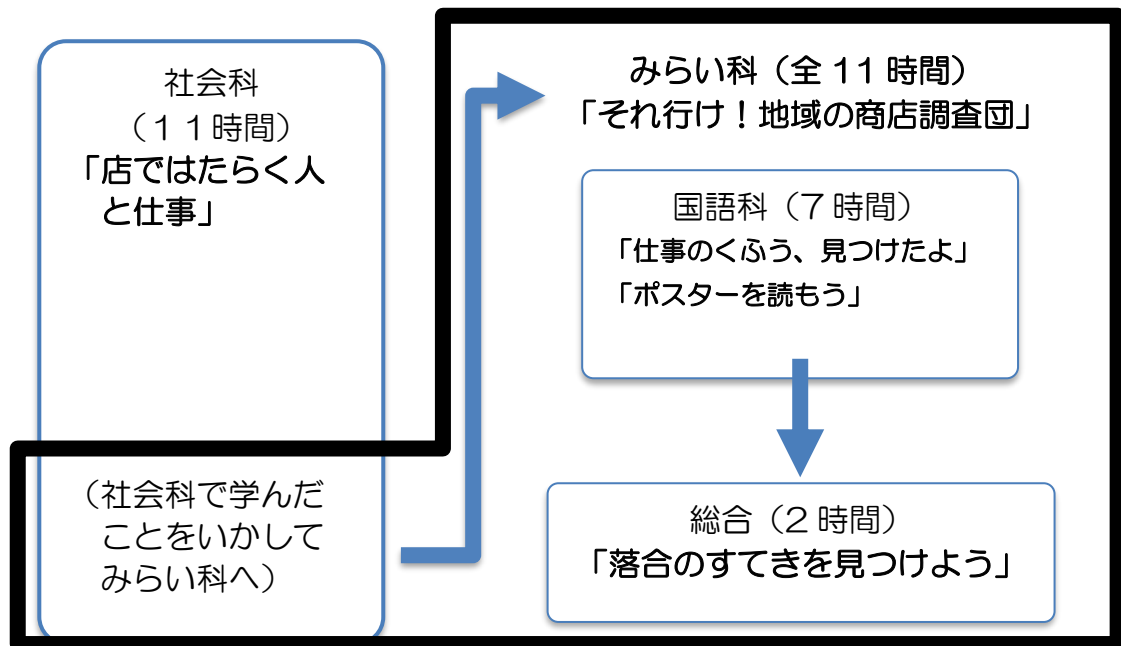
2 単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>①地域にある商店に目を向け、全体で取り組む課題を知り、その解決のために友達と適切な方法を選んで調べたり、必要な情報を比較・分類したりするなどして、消費者の願い、販売の仕方などについてまとめている。</p> <p>②落合地域には様々な商店があり、それぞれ消費者の多様な願いを踏まえ、お店を営んでいることを理解するなどして地域の商店のよさを見付けている。</p>	<p>①地域にある商店の販売の仕方、他地域との関わりなどに着目して問いを見出し、学習課題や学習計画を考え表現している。</p> <p>②身近な他者と関わりながら、目的意識をもって調べ、書く内容の中心を明確にし、適切な表現方法を選んで、文章の構成を考えている。</p>	<p>①落合地域のまちのよさや特色に関心を持ち、地域に見られる販売の仕事について、友達と関わり合いながら予想や学習計画を立てたり、内容の中心が明確になるよう、文章の構成の工夫を考え調べたことを報告する文章を書こうとしたりして、主体的に課題解決を目指している。</p> <p>②地域の商店調べを通して自分と地域社会とのつながりに気づき、地域の活動に進んで関わろうとするなど、地域の一員としての自覚をもとうとしている。</p>

3 単元について

【教材について】

この教材は社会科「わたしたちのまちと人々のしごと」で行った地域のスーパーマーケット調べから接続し、国語科「仕事のくふう、見つけたよ」をベースに、地域の商店の良さや工夫を調査しそれを読者に伝わるようわかりやすくまとめ、友達や地域の人々に知らせていくという学習である。社会科「わたしたちのまちと人々のしごと」では、保護者ら地域の人々が多く利用する商店としてスーパーマーケットを調査し、その中で商店の販売の仕方や工夫、販売者の思いなどを聞き取った。この経験をもとに、専門店をはじめとする商店のひみつを探る学習を行う。本単元の第一時では、専門店の例として本校の給食で使う豆腐を提供していただいている豆腐屋さんを取り上げ、児童にとって身近な給食を通して専門店と関わりがあることに気付かせる。この気付きをきっかけとして興味をもった地域の商店を調査し、分かったことを読者に伝わるようまとめる学習を通して、自分の住む地域には様々な商店があること、そしてその商店は、地域に住む人々の願いを受け、様々な工夫をしていることに気付かせたい。また本教材を通して自分の住む地域についての理解が深まると、総合「落合にしかないすてきを見つけよう」にあるような「すてき」につなげていくこともできると考えた。



【児童について】

本学年の児童は今年度から社会を学習しているが、新しい教科に関心が高く、意欲的に取り組んでいる。また昨年度の生活科の学習では、町探検で見つけた施設にインタビューをした経験があり、各商店への聞き込みについても積極的に活動すると思われる。児童は専門店を「専門店」と意識して買い物することは少ないが、買い物する場所としては認識している。何人かの児童に地域にある専門店の写真を見せると、「ここの卵焼きがおいしい。」「ここの豆腐屋さん知ってる。」など教えてくれた。本学習では、児童に自分と地域が関わり合っていることをより強く感じてもらうために、買い物調べで分かったことや1・2年生の町探検で調べたことを思い出すなどして、児童の経験したことや思い出を引き出し、学習につなげたい。

【指導について】

本学習は事前学習として社会科「わたしたちのまちと人々のしごと」にてスーパーのことに詳しくなったところで、「それに対して専門店の工夫は何をしているのか。」に調査をシフトする形で行う。そのきっかけとして地域の豆腐屋さんに協力してもらい、スーパーの豆腐と豆腐屋さんの豆腐を食べ比べ、その違いを感じたり、この豆腐が自分に身近な給食に使われていることを聞いたりすることで、自分と専門店にもつながりがあることに気付くことができる。豆腐屋さんをきっかけに、この地域にある専門店の思いについて調べるとい学習課題を立て、児童の希望に従い、豆腐屋さん肉屋さんや魚屋さんなど地域にある商店の工夫や思いをグループごとに調査し、まとめる活動を行う。この調査方法を社会科でスーパーマーケットを調査したときと同様のものにする事で、スーパーだけでなく各商店にもそれぞれこの地域で商店を営む理由や思いがあることに気がつかせたい。まとめる方法はポスターや新聞などとし、町の掲示板や商店、学校のホームページに載せるなどして地域にも関わられるようにする。そうすることで、「地域の一員として」の活動になると考えた。

4 研究主題との関連

目指す児童像 「自ら考え、判断し、行動できる児童」

①自ら活動に取り組むことができる児童にするために

スーパーと商店の違いや思いについて自ら考えようとする児童にするために、導入で五感を使った食べ比べを行ったり、栄養士の先生に話を聞いたりする。

この単元では、スーパーマーケットと各専門店の強みや思いを知り、自分たちの生活に生かせるようにすることが目標となる。スーパーのよさを学習した後、スーパーの商品と専門店の商品を、味、値段、材料、量など多様な視点で比較し、スーパーの「安定して、大量に、安く様々な商品を提供する。」という販売理念との違いを感じ、「どうして専門店は『専門店』として商売をすることにしたのか。」「専門店の秘密を知りたい。」という方向へ学習課題をシフトする。まず本校と関係の深い地元の豆腐屋さんに協力していただく。豆腐屋さんの調査をきっかけとして、「では他の専門店はどんな秘密があるのだろう。」という気持ちをおこさせ、それぞれが詳しく調査したい商店を自ら挙げられるようにする。

②自分で考え、判断することができる児童にするために

前時までの社会科で学んだ「調査をするための方法」や、国語科で学んだ情報の整理やまとめの仕方を生かして、考える。

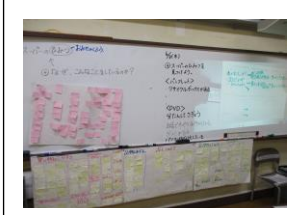
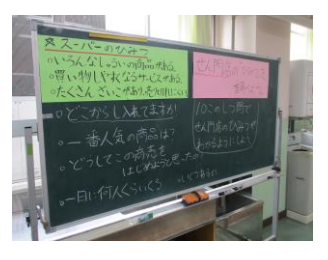
この単元では「自分で目的をもって調べ、それを理解して、周りに発信する。」という活動を行う。社会科のスーパーマーケットの調査で、商店の調査はどういったことに着目し、どの情報を掘り下げるとよいのか、また質問はどんなものを準備すればよいのかなど詳しく調査する方法を学習しているので、その経験を活かし調査する商店に合った質問や準備を、自分たちで資料を調べたり話し合ったりしてできるようにさせたい。調査したことのまとめは、国語科「仕事のくふう、見つけたよ」と並行して行う。文を書くときの段落の分け方やその役割、段落ごとに書く内容を明確化し全体の構成を考える力が身につくように、調査して分かったことを箇条書きし、それぞれに自分が考えたことを対応して書いたり、報告書にまとめる順番を書いたりできるワークシートを活用して、調べたことをわかりやすくまとめられるよう指導する。

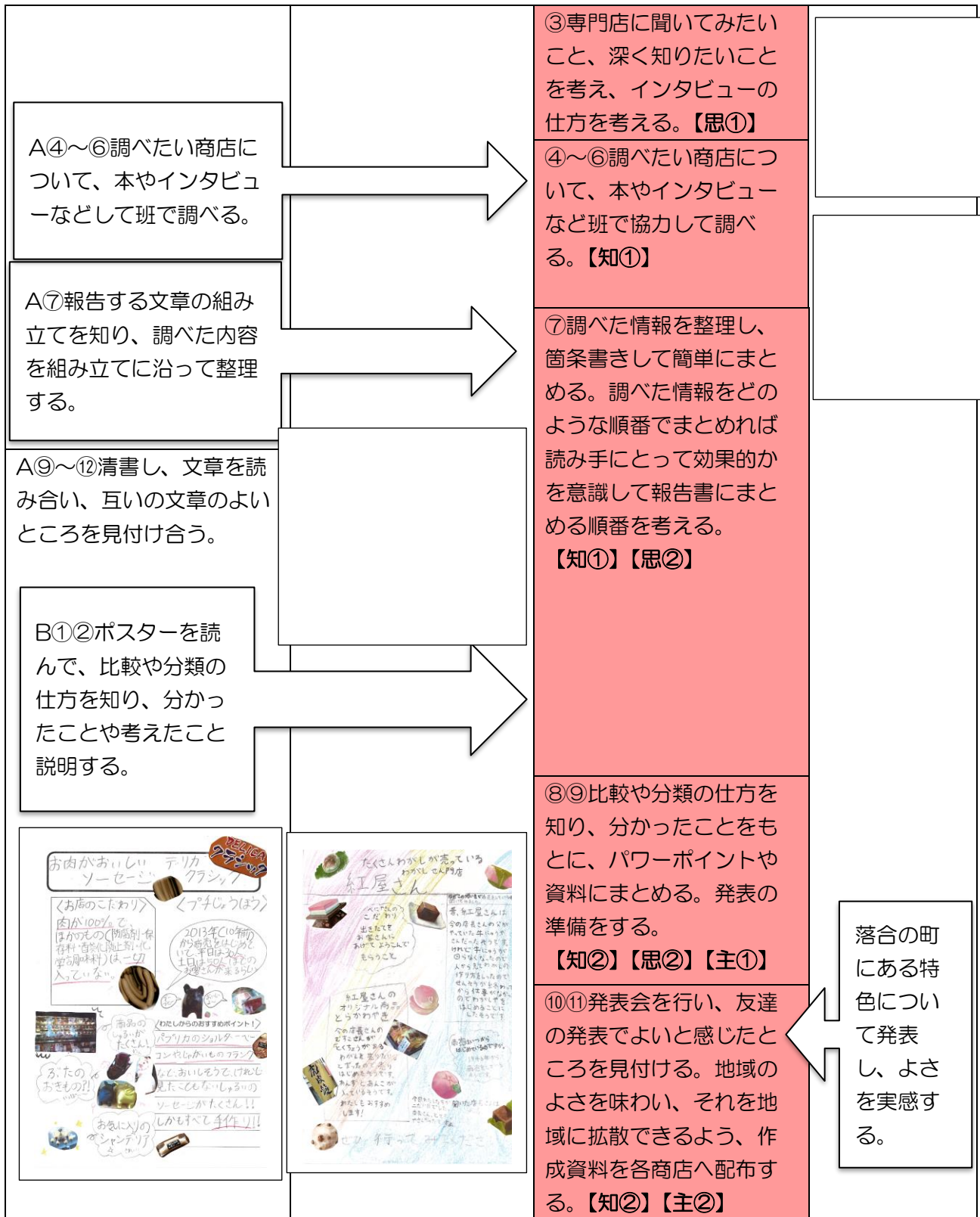
③協働的に行動（表現）することができる児童にするために

グループで深く考えることができるようにするために、明確なゴールを提示し、調べたいものを自分で選んでグルーピングする。

今回の学習のゴールは、調査したこと、それについて考えたことをまとめたものを他チームだけでなく、お世話になったお店の人に伝えたり、広告やポスターとして置いてもらったりすることである。ポスターや広告にまとめる意味を明確化することで児童の意欲が高まり、商店の良さや思いをどう伝えればよいのか、どうまとめると伝わりやすいのかなど主体的に取り組むと考えられる。また調べたい商店を自分で選びグルーピングすることで、「その商店を調べたい。」という同じ思いをもつメンバーで学習を進めることができ、より意欲をもって協働的に活動できると考えた。

5 学習指導計画（全11時間：本時1/11）

<p>国語</p> <p>A 仕事のくふう、見つけたよ(5/12)</p> <p>B ポスターを読もう(2/2)</p>	<p>社会</p> <p>店ではたらく人と仕事(2/11)</p>	<p>みらい</p> <p>それ行け！地域の商店調査団(全11時間)</p>	<p>総合</p> <p>落合にしかないすてきを見つけよう(2/40)</p>
	<p>①～④たくさんの方が利用しているスーパーマーケットの秘密をさぐるための計画を立てる。</p> <p>⑤～⑨スーパーの見学を行い、行われている工夫や店の人の思いをまとめる。また仕入先を調べまとめる。</p>		
<p>A①②学習課題を設定して学習計画を立てる。</p>	<p>⑩⑪スーパー以外にどんな店があるかを確認、買い物調べをきっかけに調べる計画を立てる。</p>	<p>①地域にある商店の商品と、スーパーに売っている商品と比較し、その違いを感じるとともに、その違いが生まれる要因について調べるという学習課題を設定する。【主①】</p>	
<p>A③身の回りにあるお店を挙げ、調べたいと思う商店を決める。グループを編成する。</p>		<p>②地域にどんな専門店があるか挙げ、調べたいと思う商店を決める。グループを編成する。【主①】</p>	



11月
 国語科「すがたをかえる大豆」
 「食べ物のひみつを教えます」の学習につながる。

教科の観点別評価規準

知識・技能

<p>総合 落合にしかないすてきを見つけよう</p>	<p>社会 店ではたらく人と仕事</p>	<p>国語 仕事のくふう、見つけたよポスターを読もう はんで意見をまとめよう</p>	<p>みらい</p>
<p>課題解決のために、インターネットやインタビューなどの中から適切な方法を選んで調べたり、必要な情報を整理・工夫してまとめたりしている。 落合地域には様々な商店があり、それぞれに良さや特色があることを理解している。</p>	<p>消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどについて、買い物調べをしたり商店を見学して調査したり、地図などで商品の仕入れ先を調べたりして情報を集め、読み取り、販売に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 読み取った情報をポスターや図表にまとめ、販売の仕事は消費者の多用な願いを踏まえ、売り上げを高めるよう工夫して行われていることを理解している。</p>	<p>段落の役割について理解することができる。 改行のしかたを理解して文章のなかで使うとともに、句読点を適切に打つことができる。 比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用のしかたを理解し使うことができる。(仕事) 比較や分類のしかたを理解し使うことができる。(ポスター)</p>	<p>身の回りの事柄に目を向け、全体で取り組む課題を知り、友達と一緒に活動の見通しをもちながら活動することができる。 自分と地域社会とのつながりに気付き、地域のよさを積極的に見つけようとしている。</p>

思考・判断・表現

<p>総合 落合にしかないすてきを見つけよう</p>	<p>社会 店ではたらく人と仕事</p>	<p>国語 仕事のくふう、見つけたよポスターを読もう はんで意見をまとめよう</p>	<p>みらい</p>
<p>落合地域のまちのよさや特色について、学習課題や学習計画を考え表現している。 調べたことをもとに、落合地域のまちのよさや特色と自分たちの生活とを関連付けて考え、よさや特色について自分の考えを適切に表現している。</p>	<p>消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して問いを見出し、販売の仕事の様子を考え、表現している。 調べたことをもとに販売の仕事と消費者の願いを関連付け、図表にまとめたり、お店のよさを考えたりしたことをポスターに表したりしている。</p>	<p>書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝えあい、自分の文章のよいところを見付けることができる。(仕事) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(ポスター)</p>	<p>身近な他者と関わりながら、目的意識をもって調べたり、根拠をもって表現したりしている。また、様々な表現方法の中から、調べた内容に合わせて、適切な表現方法を選んでいく。</p>

主体的に学習に取り組む態度

<p>総合 落合にしかないすてきを見つけよう</p>	<p>社会 店ではたらく人と仕事</p>	<p>国語 仕事のくふう、見つけたよ ポスターを読もう はんで意見をまとめよう</p>	<p>みらい</p>
<p>落合地域のまちのよさや特色に関心を持ち、学習を振り返ったり見直したりして、学習課題を追究・解決しようとしている。 落合地域の商店調べを通して、地域との関わりを深め、地域の一員としての自覚をもとうとしている。</p>	<p>地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>	<p>内容の中心が明確になるよう、積極的に文章の構成の工夫を考え、学習の見通しをもって、調べたことを報告する文章を書こうとしている。(仕事) ポスターを読んで理解したことに基づいて、進んで感想や考えをもとうとし、学習課題に沿って、友達と伝えあおうとしている。(ポスター)</p>	<p>解決すべき課題に目を向け、友達と関わり合いながら活動の見通しをもち、調べた内容に合わせて手段や表現方法を考え、活動を修正しながら課題解決を目指している。 自分と地域社会とのつながりに気づき、地域の活動に進んで関わろうとしている。</p>